

国際ロータリー第2640地区

世界社会奉仕委員会 御中 2009年7月7日

和歌山南ロータリークラブ

国際奉仕委員会 檜畑国俊

2008-2009年度

世界社会奉仕（WCS）活動報告

地区ファンドにてご支援頂きました活動内容につき、下記の通りご報告申し上げます。

記

1. WCS 実施国：ミャンマー サガイン地区
2. プロジェクト名： 発展途上国の子供を救え
3. 活動内容： 国際医療奉仕団ジャパンハートの吉岡代表は、当初単独一人でミャンマーに渡り、治療を受けられない貧しい人々を助けるために活動し続けている。氏は第二次大戦中日本兵を救ってくれた、言わば祖先の恩返しと捉え私財を投入して救助活動に勤しんでいる。時には、現地の施設では対応できない重症の、或いは専門機器がなくて治療できない人を日本に連れ帰り治療をすることもある。このひた向きの姿勢で活動に臨んでいる吉岡氏をミャンマーまで訪ねる現地調査団を組織した。現実には過酷以外何ものでもない状況が待ち受けていた。孤軍奮闘している氏を支援するに至った経緯である。
4. 現地訪問： 2009年7月22日～27日、バンコク経由ヤンゴンを経由してマンダレーまで飛行機で飛び自動車にてサガインに到着、ワッチェ慈善病院を訪問し吉岡氏と面談。当クラブからは村上会長、堀井国際奉仕委員長、檜畑国際交流委員長の3名が調査団として訪問。現地にてその対応振りを確認した。
因みに2008年12月1日～2009年4月7日までの約5ヶ月間で、外来患者2056人、手術件数391人との報告が入っている。
5. 使途について：
 - ① 手術用ベッドの購入
 - ② 巨大腹膜腫瘍を抱えた21歳女性に対し、ミャンマーでの治療と、日本での治療に際しての諸経費
 - ③ ワッチェ慈善病院での患者の治療費及び諸経費など